

令和6年度 ひょうご居住支援研修会報告書

居住支援法人連絡会「きずな」

テーマ 「要配慮者に寄り添う居住支援事業をめざして」

会 場 こうべまちづくり会館 2階（神戸市中央区元町通 4-2-14）

日 時 2024 年 10 月 29 日（火）14:00～16:00

講 師 公益財団法人 ひょうごコミュニティ財団 実吉 威 氏

出席者 居住支援法人連絡会「きずな」（9団体 10 名）

居住支援法人連絡会「ひょうごん福祉ネットワーク」（3団体）

兵庫県住宅政策課 2 名

*アンケートより（回答 11 枚・複数回答有）

① 本日の研修会はいかがでしたか？ ご感想、ご意見をお聞かせください。

- ・ネットワークを持っている方、団体とのつながることが、最初のステップであると感じた。ある団体の強みがある団体の弱みであるケースも多いことを実感した。
- ・他団体の担当者の実直な話が聞けて良かった。
- ・他団体との連携の糸口ができて良かった。悩み事や困りごとは、他団体も同じで一緒に解決策を見つけていけたらと思いました。
- ・良い経験になりました。
- ・顔を合わせることでいろんな幅が広がったと思います。
- ・始めたばかりで、皆さんの進め方などとても役に立ちました。
- ・とても身になるお話でした。ネットワークの大切さが良くわかりました。
- ・ネットワークが大切で、個々に訴えるのではなく、ネットワークで行政に現場の声を挙げるのだと思いました。
- ・とても有意義でした。
- ・居住支援活動を始めた団体にとって他団体の経験値を共有させていただくことが何よりの教科書だと思いました。悩みや愚痴を聞いてもらえるネットワークが大切だと実感しました。

②「持続可能な居住支援事業をめざして…」に最も必要なものは何ですか？

1. (6) 潤沢な事業費（補助金・助成金・寄付・その他）
2. (4) 要配慮者に理解のある大家さん オーナー 不動産業者
3. (7) 居住支援に携わる団体とのつながり・連携
4. (1) 兵庫県・神戸市 行政機関とのつながり・連携
5. (5) 社会福祉協議会や生活支援課とのつながり・連携
6. (1) 既存の地縁組織や地域の理解と協力
7. その他 ()

③今後、研修会が開催されれば ご参加いただけますか？

是非参加したい (9) 日程による (2) 不参加・未定
(0)